

令和5年度国立大学法人茨城大学と水戸市との連携協力による学校支援活動報告書  
水戸市教育委員会

1 支援活動の実施状況

区分	活動人数	延べ活動日数	主な活動内容
幼稚園	2	2	日常保育補助、行事補助
小学校	59	292	授業における学習支援、学校行事の補助、校外学習の引率補助、特別な配慮を要する児童に対する個別支援等
中学校	14	119	学校行事の補助
合計	75	413	

2 幼稚園・認定こども園・小・中学校の支援活動実施後の感想等

(1) 幼稚園・認定こども園

- ・礼儀正しく、素直に一生懸命に支援をしてくれました。

(2) 小学校

- ・運動会前日が雨だったため、グランド整備に多くの人が必要であったので、今回ボランティアとして3人の大学生が参加し、協力してもらえたことは大変助かった。また、児童にとっても自分たちの大切な学校行事に大学生ボランティアが関わり、一緒に協力しながら活動できたことは、視野を広げる良い機会となった。
- ・水泳学習、算数の学習とも支援内容をよく理解し、適切な支援を行った。発達段階をよく理解しながら、丁寧に対応してくれていた。
- ・分担された支援活動に積極的に取り組んでくれた。就学時健康診断では受診者（保護者、未就学児童）の立場を考え、丁寧に誘導していた。準備・片付け等についても仕事を自覚し、作業に当たってくれた。非常によく活動してくれた。
- ・宿泊学習の目標を理解し、児童が規律ある集団行動がとれるよう声かけをしたり、安全・安心に活動できるよう見守りをしたりと責任ある行動がとれた。
- ・持久走大会の補助では、コース付近の安全確保を目的とした補助を行ってもらった。その際に、通過する児童に励ましを行ってもらった。おかげで、大きな事故もなく安心・安全を優先した持久走大会となった。
- ・持久走大会の児童看護では、自ら児童の輪の中に自然ととけ込み、児童の話を聞いたり、トイレに付き添ったりするなど積極的に支援してくれていた。
- ・保健室業務の補助では、来室者が多い時間帯でも、落ち着いて児童に優しく声かけをして記録を行っていた。また、保健室登校の児童に積極的に声掛けをしたり、一緒に活動したりして上手にコミュニケーションをとることができた。児童は楽しく安心して保健

室で過ごすことができている様子だった。

- ・児童に対して誠実に関わり、学習面・生活面での個別指導に取り組むことができた。回を重ねるごとに、児童との心の距離が縮まり、笑顔で関わっていた。児童も親近感をもって接していた。

### (3) 中学校

- ・教育実習後ということもあり、生徒とコミュニケーションを取りながら活動を行うことができていた。一人一人が積極的に自分にできることを探し、取り組んでいたので、非常にありがたかった。
- ・体育祭の救護係の補助として、負傷した生徒の負傷箇所を水洗、消毒などの手当てをするなど積極的に行動した。丁寧な対応、補助、細やかな気遣いにより、円滑に救護係の活動を進めることができた。
- ・体育祭の受付や救護を担当する職員の補助を熱心に行った。学校としてもとても感謝をしている。

## 3 教育委員会からの感想、要望

学校支援活動に関わっていただいた学生の皆さんには、大変感謝しております。学校行事の支援から学習支援まで、様々な学校支援活動に積極的に参加し、子どもたちに温かく接していただきました。多くの子どもたちが学生の皆さんとの笑顔や声掛けに励まれ、より充実した学校生活を送ることができました。

学校（園）の感想から、それぞれの活動の趣旨を理解して活動し、子どもたちと意欲的にコミュニケーションをとりながら関わってくれた、教員からの指示もよく聞いて的確に支援を行ってくれたので大変助かったとの声がありました。

学校支援活動は、学校教育の場で実際に活動を行うことで自分の成長や可能性を広げ、学生が自己のキャリアについて考える機会となり、社会人になって必要なスキルを学んだり身に付けたりする場になるのではと考えております。また、人とのつながりが生まれ、様々な年代の人とつながりをもつことで、経験を豊かなものにしてくれます。

今後は、学校の教育活動を学生に支援していただくばかりでなく、教職を目指す意欲的な学生やボランティア活動を希望する学生を学校現場から支えるという面も意識しながら、より多くの学生の皆さんに参加していただけるよう学校支援活動の推進に努めてまいります。